

■平成30年度ウミガメ保護監視員設置事業について

<事業項目：③・⑥B>

本町では、豊かな自然環境を構成する貴重な野生動物であり、学術的、文化的な価値を有するウミガメの保護を図り、資産として継承するために鹿児島県ウミガメ保護条例の趣旨に基づくウミガメ保護監視業務を実施している。

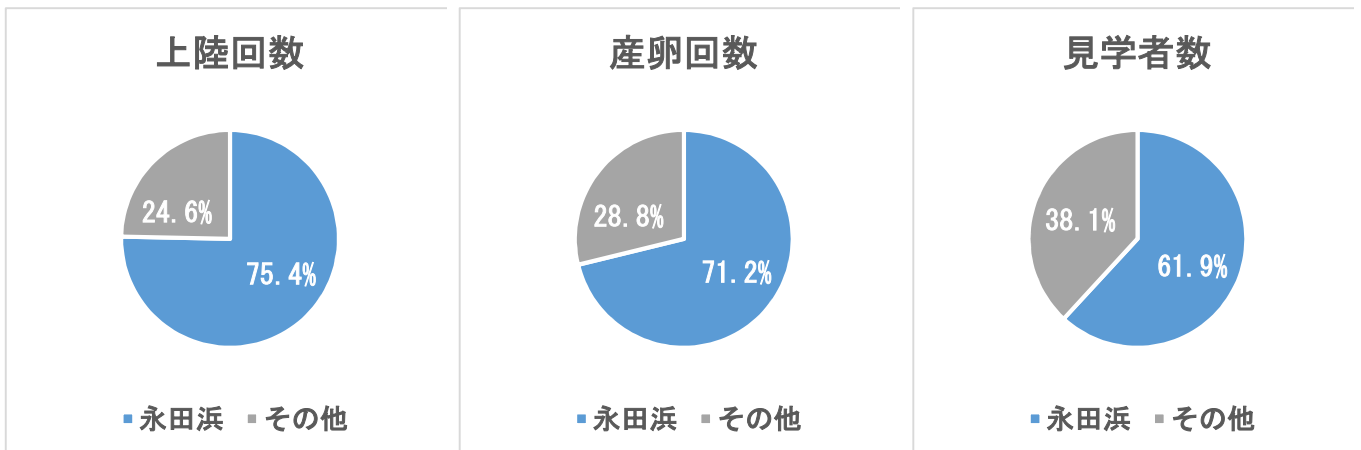
業務の期間は、産卵期の始まりである5月からふ化期の9月までで、町内の6箇所にウミガメ保護監視員を設置し、観察者に対するマナー指導や上陸産卵回数を調査したので、その結果を下記のとおり報告する。

(1) 実施結果

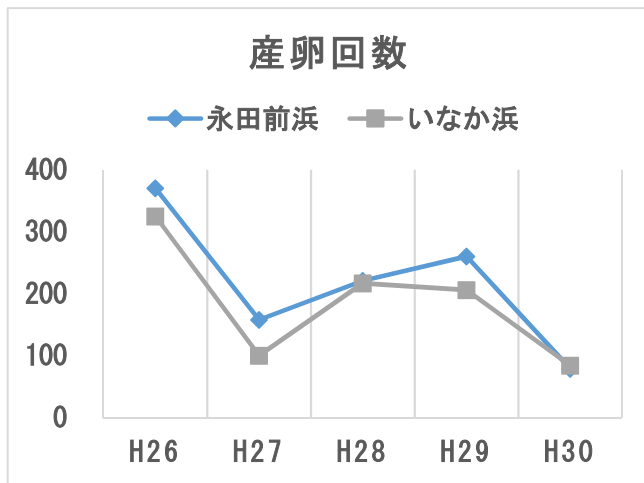
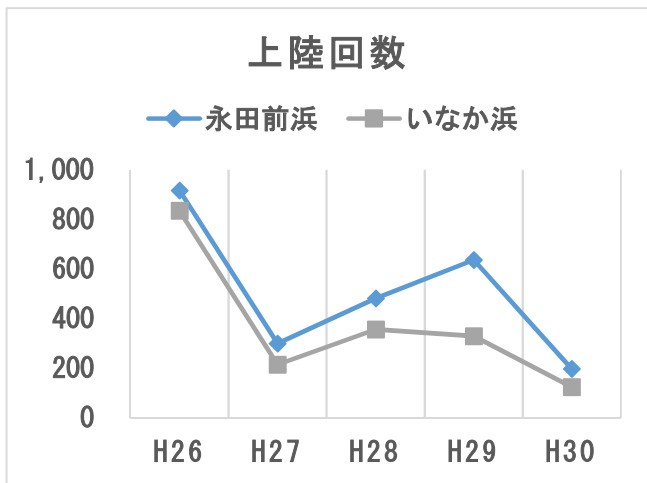
() 内は昨年度の数値

実施箇所	上陸回数	産卵回数	見学者数	業務期間		業務日数	実施団体	
				自	至			
永田前浜	197回 (637回)	79回 (260回)	56人 (74人)	自	6月2日	70日 (70日)	永田ウミガメ連絡協議会	
				至	9月20日			
いなか浜	124回 (329回)	84回 (206回)	1,727人 (4,815人)	自	5月20日	70日 (86日)		
				至	8月31日			
栗生浜	37回 (135回)	23回 (43回)	905人 (2,060人)	自	5月20日	70日 (71日)		栗生区
				至	7月28日			
サゴシ浜	33回 (39回)	24回 (16回)	35人 (32人)	自	5月20日	24日 (23日)		
中間浜	19回 (38回)	16回 (12回)	128人 (133人)	自	5月20日	32日 (38日)	中間ガジュマル会	
				至	6月24日			
一湊浜	16回 (35回)	3回 (11回)	31人 (31人)	自	5月30日	32日 (40日)	一湊を語る会	
				至	6月30日			
合計	426回 (1,237回)	229回 (588回)	2,882人 (7,146人)			298日 (349日)		

(2) 平成30年度全島に占める永田浜の割合



(3) 推移



※業務期間に多少の差異がある。

(4) 夜間の入浜

永田浜は「屋久島町永田浜ウミガメ観察ルール」によって、夜間の入浜をご遠慮いただいているが、今年度、前浜で保護監視に当たっていた監視員から数件、夜間の入浜が報告された。

中にはライトの使用等の行為も見受けられるなど、ウミガメへの悪影響が懸念されるが、現在、入浜については、任意ルールであるため、強制的に使用を中止させることはできない状態である。

また、ルールを知らずに訪れる方も数名いらっしゃるため、さらなるルールの啓発が必要と思われる。

■ルールの普及啓発について

平成30年町報5月号で鹿児島県ウミガメ保護条例及びルールガイドを広報した。下記記事内容。

ウミガメの保護にご協力ください

鹿児島県では、世界的に絶滅が危惧されているウミガメを守るために「鹿児島県ウミガメ保護条例」を制定し、保護に努めています。この条例では、県内全域の海岸でウミガメを傷つけたり、許可なくウミガメの卵を採取したりすることが禁止されており、これに違反すると最大で1年以下の懲役または50万円以下の罰金に処せられることがあります。

本町では、ウミガメの産卵期や子ガメのふ化期に、永田、一湊、永久保、中間、栗生の各浜にそれぞれ保護監視員を配置し、観察ルールの啓発や保護、上陸・産卵回数の調査等を行っています。

また、永田と栗生の浜では独自のウミガメ観察ルールを設定しており、地域の方々等が中心となって、訪れる皆様の保護意識の啓発を担っていただいています。

屋久島町全体でウミガメを保護していく為に、浜に訪れる際はルールを守っていただくようご協力をお願いします。

ウミガメシーズンに浜を訪れる際の注意事項


～常時～

- ①浜ではむやみに歩き回らない。
- ②ウミガメには触らない。
- ③カメラやビデオによる撮影は控える。
- ④飲食物や酒類の持ち込みは控える。
- ⑤海岸及びその近辺での喫煙は控える。
- ⑥ゴミは各自持ち帰る。

～夜間～

- ①光る器具の使用は控える。
- ②騒がない。

※ウミガメは音や光に敏感です。ご協力をお願いします。



屋久島永田浜
ウミガメ観察
ルールガイド
2018年4月発行
永田浜ウミガメ保護監視員
永田の地域ルール

■捕獲等許可について

鹿児島県から権限移譲を受け、鹿児島県ウミガメ保護条例に基づくウミガメ捕獲等の許可に関する事務行を行っている。平成30年度は以下のとおり許可した。

(1) 永田浜でのウミガメ捕獲等に関する許可状況 2件

目的	申請者	許可内容
学術研究	東京大学大気海洋研究所	親ガメ：最大200頭 卵：最大200巣
	環境省九州地方環境事務所	子ガメ：最大200巣分 卵：最大920巣

(2) 永田浜を含む全島での許可状況 1件

目的	申請者	許可内容
学術研究 保護啓発	NPO法人屋久島うみがめ館	親ガメ：最大3,000頭 子ガメ：最大10,000匹 卵：最大1,500巣

(3) 永田浜以外での許可状況 3件

目的	申請者	許可内容
保護啓発	中間ガジュマル会	卵：最大20巣
	屋久島町立栗生小学校	卵：最大1巣
	一湊を語る会	卵：最大20巣

■参考

浜名	H26			H27			H28			H29		
	上陸	産卵	見学者	上陸	産卵	見学者	上陸	産卵	見学者	上陸	産卵	見学者
永田前浜	917回	370回	692人	299回	158回	824人	482回	221回	62人	637回	260回	74人
いなか浜	835回	325回	4,140人	214回	100回	1,779人	356回	217回	3,800人	329回	206回	4,815人
栗生浜	141回	100回	1,884人	45回	31回	1,713人	88回	69回	1,416人	135回	84回	2,060人
サゴシ浜	44回	27回	12人	24回	20回	0人	32回	13回	49人	39回	16回	32人
中間浜	42回	17回	110人	43回	19回	119人	42回	16回	134人	45回	12回	133人
一湊浜	76回	33回	75人	18回	7回	8人	48回	16回	26人	35回	11回	31人
合計	2,055回	872回	6,913人	643回	335回	4,443人	1,048回	552回	5,487人	1,220回	589回	7,145人